

平成30年6月24日執行

滋賀県知事選挙選挙公報

滋賀県選挙管理委員会

もう黙っていられない アベ政治 あなたの一票で 変えよう!暮らし第一の県政へ



無所属/市民がつくる滋賀県政の会 日本共産党推薦
こんどう
近藤まなぶ
(68歳)

改ざん、隠ぺい、ねつ造…国民から退場の審判をつきつけられるアベ自民党。国の悪政と対決できる知事こそ、国民のいのちと暮らしを守れます。



1 中学3年生まで医療費を無料にします

10億円あればできます。すでに実施している市町は、高校卒業までひろげるなど、さらに充実できます。

2 小中学校の30人学級を実現、特別支援学校を新設します

県立高校のクーラー設置やトイレ改修もすすめます。大規模化と老朽化の解消へ特別支援学校(養護学校)を新設します。

3 返さなくてもいい奨学金制度をつくります

滋賀大学副学長当時、大学独自の奨学金をつくった経験を生かし、県独自の奨学金制度をつくります。

4 子育て・医療・介護の先進県へ

①保育所、学童保育所の充実。②国保料の引き下げ、医療体制の充実。③介護・障害者施設の増設。④保育士や介護職員の処遇改善。

5 今こそ、中小企業、地場産業、農林水産業を応援

中小企業の仕事おこし・住宅リフォーム助成制度をつくります。コメリ応援。地域でお金が循環するしくみ(地域通貨)をつくります。

6 原発ゼロでびわ湖と滋賀の自然を守ります

再生可能エネルギーの普及。国とも連携してびわ湖を守ります。

財源はあります

5000億円の予算のやりくりとともに、国体に名を借りた大型施設建設(94億円の体育館、200億円の陸上競技場)を見直せば、県民のねがいは実現できます。お金の使い方を大型施設建設優先から、暮らし第一に切り替えます。

近藤まなぶ 検索 プロフィール 経済学博士/元滋賀大学副学長。平和・民主主義・人権を守る運動のリーダー

自然の健康

生物多様性 守る力、活かす力で琵琶湖保全と再生!

つながり再生

水産資源の回復と消費拡大
●アユ、ニゴロブナ、ビワマス、セタジミ など
内湖再生
●ヨソ群落保全、ピオテープ整備 など
外来生物対策
●オオバナミズキンバイや外来魚等の駆除徹底 など
水草対策
●刈り取り・除去、有効活用のビジネスモデル化 など

環境こだわり農業

●取組の拡大
●オーガニック農業の推進(近江米、近江茶)
●養蚕復活プロジェクトの検討 など

エシカル消費の推進

●環境、人・社会、地域に配慮

エコツーリズム

●ピワイチ、トレイルラン、カヌー
●食・暮らし体験ツアー など

びわ湖の日

●みんなで“びわ湖”
7/1～8/11 多様な展開

琵琶湖の活用

●ウォーターレジャー滋賀の展開(水環境ビジネス)
●滋賀の農山漁村の魅力と価値を発信(世界農業遺産登録、魚のゆかり水田等)
●みどりとおもてなしを将来ビジョンの検討
●適正な負担と利活用のルールづくり
●約人と連携した琵琶湖保全の取組 など

調査・研究や学習

●国立環境研究所との連携、世界湖沼会議・世界水フォーラムでの発信
●新たな水質管理指標(TOC)開発 など
次期計画の検討
●琵琶湖保全再生計画、マザーレイク21計画 など

県民、企業、大学等との連携

●淡海川づくりフォーラムの振興と発信 など

プロフィール

●大津市立日吉台小、日吉中学校卒業
●滋賀県立膳所高等学校卒業 ●一橋大学経済学部卒業
●1994年 JR西日本入社 ●2002年(財)松下政経塾入塾
●衆議院議員4期連続当選(国土交通大臣政務官、国土交通副大臣等を歴任)
●2014年 滋賀県知事に就任
「琵琶湖新時代」として、持続可能な共生社会づくりをめざす。
“新しい豊かさ”の創造に取り組む。

社会の健康

すべての人に居場所と出番 共生社会 をつくる力、ひろげる力で暮らしと活力を!

共生社会

まるごと共生社会づくり

●多様な交流の場や居場所の創出
●農業と福祉の連携推進 ●再犯防止の推進
●共生社会づくりを目指す条例の制定
●コミュニケーション手段確保に向けた条例の検討
●盲ろう者の調査と対策の検討
●糸賀一雄思想の伝承・普及 ●空き家の利活用対策
●動物愛護 致死処分ゼロへの取組推進 など

公共交通

地域に根ざした交通(移動)手段の充実

●バス路線等充実への社会実験
●自動運転や住民による輸送の社会実験
●JR、近江鉄道、京阪、信楽高原鉄道の利用促進
●バス交通の利便性の向上
●都市計画・交通計画・財源の統合的研究 など

産業振興

次世代成長産業の創出と産業人材確保・育成

●国立環境研究所との連携、SDGs×イノベーションで展開
●県内企業(中小・小規模事業者)の発展支援
●事業承継支援の集中取組、県内企業のシーズを発信
●滋賀で就職・起業・創業する人の支援
●力強い農業の実現(スマート農業、六次産業化)
●滋賀で就業・起業・創業する人の支援
●大型観光キャンペーンの展開
●「ここ滋賀」での魅力発信と滋賀への誘引
●映像拠点の誘致検討 など

健康な職場づくり

●働き方改革、女性活躍を促進 など

安全・安心

犯罪や交通事故のない安全・安心なまちづくり

●交通事故発生件数をさらに低減 ●特殊詐欺被害の防止
●ストーカー・DV、児童虐待防止など

地域防災力を向上

●ハード・ソフト両面の流域治水 ●土砂災害対策の充実
●地震防災プラン、原子力災害対策
●大川ダムの効果検証(勉強会)
●女性の防災力アッププロジェクト検討会議 など

原発に依存しない新しいエネルギー社会づくり

●スマートエネルギータウン(工業団地)の推進
●菜の花プロジェクト ●下水熱や水素エネルギーの活用
●脱炭素社会に向けた取組 など

道路、河川の整備・管理

●府県をつなぐ道路網の整備
●新たなスマートICの整備(多賀SA等)
●河川整備(日野川、姉川、高時川、大戸川、安曇川等)
●農業水利施設の整備保全(ため池対策、長寿命化対策等)
●自然のもつ力を活かした基盤整備(グリーンインフラ) など

県政運営

●組織力を高める健康経営 ●持続可能な行政基盤の構築
●公契約条例、公文書管理・公文書館設置条例の検討 など

人の健康

人権と多様性を尊重 生きる力、学ぶ力で“いきいき人生100年”

生きる力・学ぶ力

学びの質を高める取組

●指導力や読解力の向上による学力向上
●持続可能な生き方を学ぶ取組(体験活動と教科の連動)
●学校教育環境(施設)の充実
●医療的ケア児童・生徒の進学に係る保護者支援
●図書館ネットワーク機能の充実
●高等専門人材育成機関の検討 など

安全・安心の子育て子育て環境づくり

●保育人材の確保 ●つくる・食べる子ども食堂
●はくみ基金(困難家庭への子育て支援)
●命の誕生を支えるメディカルセンター構想(国)検討 など

多様なライフコースを実現

●大学等での学び直し支援
●レイカディア大学、シルバー人材センター等の充実
●人生100年構想会議の立ち上げ検討 など

文化とスポーツ

する 見る 支える 楽しむ

すこやかにスポーツを楽しむ環境づくり
●2024国体・全国障害者スポーツ大会にむけた準備
●湖国のアスリート養成、スポーツボランティアの育成
●プロスポーツ、スポーツビジネスの応援
●スポーツアカデミー創設の検討 など

本物の文化・芸術を楽しむ環境づくり

●新生美術館整備
●アールブリュットの振興
●文化財の保存と活用
●彦根城世界遺産登録支援
●東京オリンピック・パラリンピック文化プログラムの推進
●滋賀ならではの魅力発信
●安土城復元プロジェクトの検討 など

予防とケア

健康づくり活動を展開

●「健康しが共創会議」から発信
●ICTやデータの活用で健康づくり活動創出
●健康寿命の要因分析と見える化
●健康しが推進プラン」の取組
●塩分摂取! 野菜摂取! 喫煙率!
●「食べる」健康づくり、健康を支える「しがメン」
●飲食や検診で虫歯予防
●健康省エネ住宅の普及 など

地域包括ケアシステムを構築

●医療人材、介護人材の確保
●リハビリ提供体制の強化
●在宅看取りネットワーク など

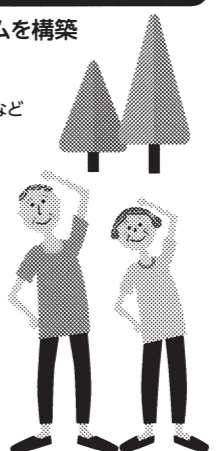
病気と伴走

●がん、認知症対策
●糖尿病重症化を防止
●ペイン(痛み)対策 など



みかづき たいぞう
三日月大造
無所属 47才

みんなをつくらう! 健康しが



投票日 6月24日(日)

※ 期日前投票・不在者投票の投票期間は、

6月8日(金) から 6月23日(土) までです。
(告示日の翌日) (選挙期日の前日)

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。